



志高く！

教育目標
「志高く 遅しく 切り拓く」
生徒会スローガン
「麻生中ABCD+」
「考・動・皆・志」

◆麻生中学校だより◆
Tel 80-8070
Fax 77-0840
<http://www.sopia.or.jp/n-asojh/>
行方市南327の3
令和3年2月26日発行
令和2年度 第27号

◆行方市青少年健全育成大会◆

2月20日（土）、行方市文化会館において、「令和2年度行方市青少年健全育成大会」が開催されました。本大会は、表彰式と青少年の主張作文発表という二部構成であり、本校からも対象となる団体の代表生徒が参加しました。最初に行われたのは、善行賞表彰式で、個人の部の「親切賞」として、第1学年の女子生徒が受賞しました。また、団体の部の「あいさつ賞」として、朝のあいさつ運動を定期的に継続して行っている吹奏楽部が受賞しました。さらに、「環境美化活動賞」として、昨年の12月に1学年が行った地域の清掃活動が認められ受賞の運びとなりました。

善行賞表彰式終了後に、体育協会表彰が行われました。本校からは、「優秀チーム賞」として、昨年度の茨城県新人体育大会で優勝した、女子ハンドボール部が受賞しました。それぞれ、新型コロナウイルス感染症対策のため、各団体の代表者1名が受賞者となり、行方市長並びに行方市体育協会長から賞状を授与されました。どの生徒も代表に相応しくすばらしい態度で臨むことができました。

青少年の主張では、優秀賞を受賞した市内中学校代表4名による作文発表がありました。こちらでも新型コロナウイルス感染症対策のため、事前に各学校にて作文発表の様子を収録し、そのデータをスクリーンに映し出すという方法で行われました。本校からは、3年生の瀬尾美菜子さんが、「今、大切にしたいこと」を、同じく3年生の新橋彩名さんが、「今、自分にできること」という内容の作文を発表してくれました。どちらもコロナ禍のなか、社会の様子や自分の生活をしっかりと見つめ、今後どのような生き方をしていくことが大切なのかを立派に述べてくれました。



◆2学年 職業人から学ぶ会◆

2月25日（木）、第2学年が、キャリア教育の一環として、「職業人から学ぶ会」を実施しました。例年ですと、職場体験学習として、生徒が様々な事業所に出向き、学習活動を行わせていただくのですが、現状では難しいため、職業人の方に来校いただくという方法での実施となりました。本取組の目的は、「進路、勤労、職業に関する関心を高め、将来の希望や計画をもち、その実現のための自己の能力の伸長に取り組む態度を育てる」ことにあります。講師として、製造業の方、理容・美容業の方、飲食業の方、販売業の方、消防士の方の5名にご来校いただきました。会の流れとしては、最初に、講師の方が従事している仕事の内容を紹介していただきました。その後、座談会形式で、講師の方と生徒との双方向的な遣り取りが行われました。生徒一人一人のキャリアアップにつながるすばらしい学びの機会となりました。お忙しい中、ご協力を頂いた講師の皆様、有り難うございました。



◆いばらきっ子郷土検定県大会オンライン交流会◆



2月24日（水）、午後4時15分から、新型コロナウイルス感染症のため、中止となった「いばらきっ子郷土検定県大会」が、交流会としてオンラインで実施されました。対戦校は、五霞町立五霞中学校、日立一高付属中学校、高萩市立松岡中学校、阿見町立竹来中学校で、それぞれの学校が8問のクイズに答えました。その後、第1回郷土検定茨城県大会に出場した茨城大学3年生女子生徒からの応援メッセージを視聴しました。

代表となった生徒たちにとって、大変貴重な経験をすることのできた時間になったと思います。これからも郷土を愛する心を持ち続けていってほしいと思います。

